

令和3年1月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,518	8,766	4,445	4,321	△ 2	△ 20
2 千 石	4,068	6,811	3,439	3,372	△ 11	△ 14
3 内 山	5,812	7,964	4,217	3,747	△ 5	△ 14
4 大 和	3,487	6,745	3,333	3,412	11	12
5 上 野	7,436	15,534	7,693	7,841	17	10
6 高 見	7,412	13,410	6,392	7,018	8	5
7 春 岡	7,056	11,101	5,809	5,292	19	13
8 田 代	11,558	21,926	10,606	11,320	2	9
9 東 山	10,476	19,475	9,608	9,867	12	2
10 見 付	4,356	8,123	4,105	4,018	12	11
11 星 ケ 丘	3,572	6,952	3,148	3,804	2	△ 1
12 自 由 ケ 丘	3,532	7,138	3,244	3,894	1	3
13 富 士 見 台	6,516	15,307	7,098	8,209	5	△ 1
14 宮 根	3,897	8,191	3,886	4,305	△ 1	0
15 千 代 田 橋	3,741	8,441	3,971	4,470	5	△ 2
千 種 区 計	88,437	165,884	80,994	84,890	75	13
R2.1.1	87,769	165,877	81,037	84,840	△ 72	△ 113
対 前 年 比	668	7	△ 43	50	147	126
名 古 屋 市	1,129,819	2,327,723	1,148,707	1,179,016	625	△ 141
愛 知 県 (R1.12.1)	3,270,442	7,537,672	3,769,357	3,768,315	1,238	△ 1,029

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	111	128	△ 17	866	836	30

【参考】

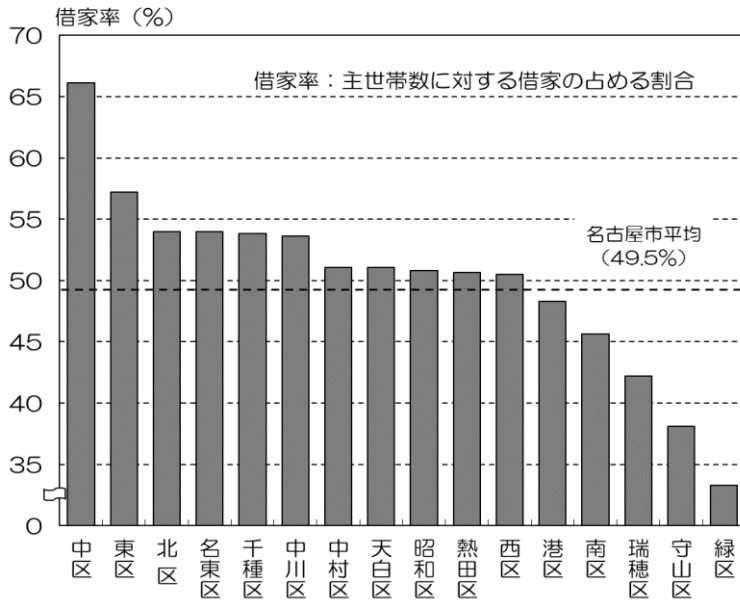
国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

千種区の借家率および持ち家率と他区との比較

令和3年1月1日現在の千種区の世帯数は75世帯増で88,437世帯となっており、人口は13人増の165,884人となっています。今回は平成30年住宅・土地統計調査結果に基づいて、各区の借家率および持ち家率を見ていきます。

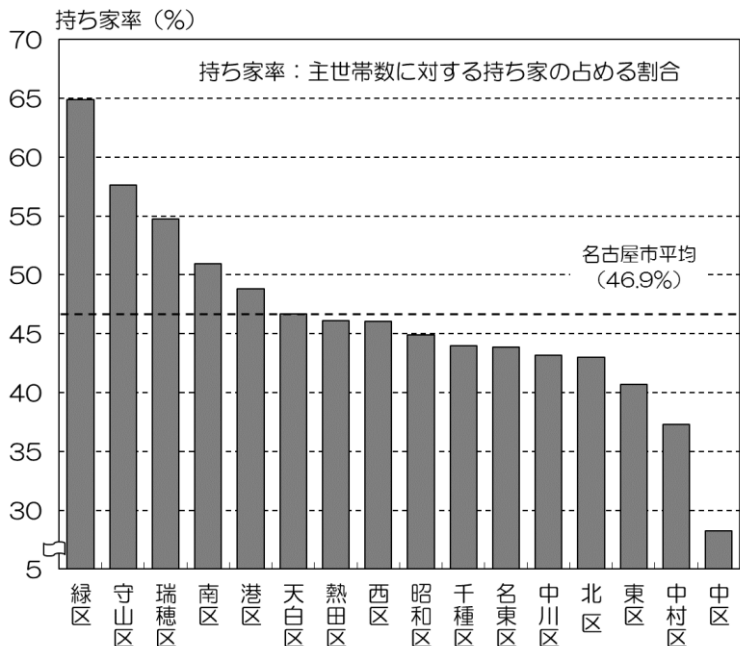
図1:各区の借家率（平成30年10月1日現在）



平成30年10月1日現在の各区の借家率（主世帯数に対する借家の占める割合）を高いほうから見てみると、中区が66.1%と最も高く、東区（57.2%）と続き、千種区は53.9%で5番目でした。低いほうから見てみると、緑区が33.3%と最も低く、守山区38.1%、瑞穂区42.2%と続きます。

全体的に見てみると、地価の高い名古屋市の中心部は借家率が高く、地価の低い郊外は借家率が低い傾向が見られます。

図2: 各区の持ち家率（平成30年10月1日現在）



平成30年10月1日現在の各区の持ち家率（主世帯数に対する持ち家の占める割合）を区別に見てみると、千種区は43.9%と16区中10番目となっています。

持ち家率が高い区を見てみると、緑区が最も高い64.9%、次いで守山区（57.7%）、瑞穂区（54.8%）となっています。

最も持ち家率が低い区は中区で28.3%と、名古屋市の平均よりも20%程低い値となっています。